

## 13 でムスリムに!

:

明:

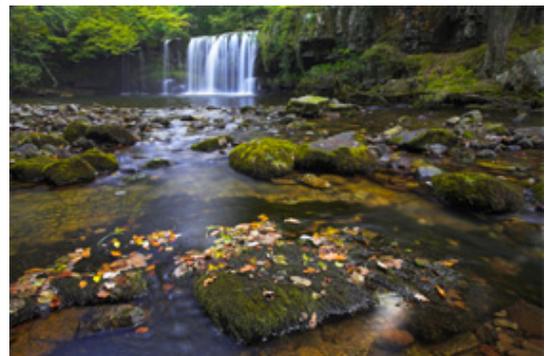
イ サ アシュビ による若年でのイスラ ム改宗。何か彼をイスラ ムに惹き付けたのか、そして彼の新改宗ムスリムとしての について。

目: [事新改宗者ムスリムの逸 男性](#)

より: サルマ クック

日 01 Jun 2015

集日 01 Jun 2015



イ サ がイスラ ムに改宗したのは、彼が 13 のときでした。改宗前、彼が10 のときは、学校に行き、友 と ぶごく普通の子でした。

そして中学校に入ったとき、当 15 だった彼の 妹がイスラ ムに改宗し、彼の家に来ては彼の家族にイスラ ムについて っていました。それについて家族のメンバ はそれぞれ なった意 を持っており、多くの が交わされましたが、彼はただ沈 を き、それに耳を けていただけでした。

ある日、彼が家にいると、彼女から がかかってきて、家から徒 で15分のところにある彼女の家に来るよう われました。つまり、彼の叔母さんの家です。 妹は彼にクルア ンを せ、それが何か分かるか ねました。彼は分からない、と答えました。彼女は、キリ

スト教にバイブルがあるように、ムスリムはクルアーンを 読むのだと 明しました。

彼はイスラームとムスリムについては何も知らないことを 悔ました。彼は、母 に教わったキリスト教のことしか知りませんでした。彼の 妹は全能のアッラ、そして 言者ムハンマドについて し、彼はアッラの遣わした使徒で、全能なるアッラ は彼にクルアーンを示したことを しました。彼女は、ムハンマド（神の慈悲と祝福あれ）がそれを いたのではなく、それは 示されたのであることを明 にしました。

彼が 味を惹かれたのは、クルアーンにおける科学的奇 でした。彼にとって 立っていたものは、クルアーンで言及されるものの事 と数でした。クルアーンで言及されている、母の胎内における胎の形成 程、星々、海洋、そして 代科学がそれら全てを 明している事柄を んだことは、彼にとって 的でした。彼は、はるか昔の人々が星々について っていたことを知りませんでした。

一日五回の礼、食 定、服装 定は、彼にとっては しいことではありませんでした。 妹がイスラームの基本を 明した、彼は礼 や服装 定について み始め、一つずつ集中していくことに 悔ました。

彼は、最も重要なことである礼 から取り かることによって、イスラームへの第一 を踏み出しました。彼が持っていたのは、アラビア の音 の本と、棒 画の のというごく基本的な本だけでした。 在では、新改宗者のための 料は当 よりも 富に提供されるようになりましたが。

当初、彼は自分がムスリムになったことについて意 されたり、批判されなくなかったため、 にもその事 を告げませんでした。その 点では、彼自身もイスラームとは何なのかということをはっきりとは分かっていませんでした。

年月が ぎ、彼は世界の 国を旅するようになり、エジプトとイエメンに留学する 会も得ることが出来ました。そこでかれはイスラームの 大さと慈悲を学びました。それ以前、彼は改宗の事 を秘密にしようと思っていました。彼は、自分の 妹以外に 一人としてムスリムを知らなかったのです。彼は地元のイスラーム 店から一神 の本、礼 断食の本、言

者 教友 正 4代カリフの を入していました。

3 4ヶ月、彼は南ロンドンのアブドッラヒム グリン氏宅での に参加しました。彼はそこで注意深く耳を け、多くのイスラ ムの基 を学んだのです。

ムスリムとして成 し、 教育を受け、大学で勉 することは、イ サ にとっては何の もありませんでした。不良の集まりと わり合いになることは非常に であるとしながらも、彼が考えていたのは礼 の のための 化をしたのかどうか、または次の礼 がいつなののかについてばかりだったと言っています。そういった 念が彼の を一杯にしていたのは、学校の他の生徒たちや、彼の 人たちがパ ティ やその他の取るに足らない事について 中になっていたときなのです。

彼は15 になると、自分のイスラ ム改宗について打ち明けることを 心しました。彼には、同じくイスラ ムに改宗した友人がおり、二人はごく狭い世界にいました。彼らはいつも一 に ごし、二人でモスクにも行きました。彼らは金曜礼 に行くために学校を け出したことから、たびたび を起こしていました。

その若さにも わらず、イ サ はイスラ ムが 格であるとは思いませんでした。彼はそれが理屈に叶っていると なしていたからです。彼はアルコールの禁制が理解出来ました。そこから由来する害 の多さから、それが人の むべきものではないことが分かっていたのです。

一部の人々は、その若さでムスリムになることは、非ムスリムからの孤立が避けられないと考えますが、それはイ サ の 合には当てはまりませんでした。彼は普通に交流し、活 していましたが、踏み越えてはならない を守っていました。彼はダンスパ ティ などのような、自分の信条に背く不埒な活 にしては、クラスメ トの に加わりませんでした。彼の非ムスリムのクラスメ トがそういったイベントに彼を ったときは、いくつかの言い を用意して断るようにはしていました。

最 に、ここにイ サ の言 を引用します。

「私は、新ムスリムが教友たちの人生について、いかに彼らがイスラ ムを 践したか理解することをお めします。教友たちは、言者自らによるイスラ ムの手ほどきを受けました。イスラ ムの正しい情 を つけることは可能ですが、 に励み、それを面倒くさがってはいけません。知 を得ることの出来る最善の方法は、クルア ン、そしてハディ ス の特にブハ リ とムスリムを むことです。」

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/1958>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。